



丹原 史晶さん

子どものアトリエ七星主宰
昭和49年8月生まれ・岡山出身・1児の父親
保育士資格・色彩コーディネーター2級取得、
(株)ハート&カラー認定 チャイルドアートインストラクター
ART&THERAPY 色彩心理協会実践会員

「すずいねえ」と子どもを肯定的に「すずいねえ」と、子どもの心の様子が見えてきます。

子どものアトリエを始めたきっかけ。

私は、27歳で一児の父親になりました。

子どもが生まれたばかりの頃、子どもを巡る痛ましい報道が連日のように新聞やテレビで流れていました。父親として子どもの成長や教育に関わっていきたくて漠然と思う反面、子どもを取り巻く環境に疑問や不安も感じていました。

ちょうどそんな時、色彩心理研究の第一人者である末永蒼生先生の講演を聴く機会がありました。講演のテーマは、「子どもの絵は心のサイン」。先生のお話で強く共感

したことが、アトリエ七星と名付けた教室を始める大きなきっかけになりました。

アトリエ七星は、いわゆる絵画教室ではありません。

この教室は、これをしてはダメがあります。文字通り自由な環境で、子どもたちは思い思いに自分自身をアウトプットします。

教室では、笑顔、真剣な顔、困った顔、スツキリとした顔、必死な顔、おしゃべりの声、騒ぐ声、歓声など、子どもたちはいつもいろいろな表情を見せてくれます。教室が用意したさまざまな色の

ある画材を自由に使って、子どもたちは自由に造形をします。子どもたちがつくり出す作品の色遣いやシンボルから、子どもたちのメッセージを感じ取り、保護者の方に伝えていくのも、この教室の大きな目的の一つです。

この教室は、末永先生が提唱する色を用いたアートセラピーを取り入れています。

色は心の鏡と言われ、今の気持ちを素直に表す手段です。また、私たちの体は色によって支えられているとも言われます。内に秘めたエネルギーが高いとき低いとき、自由に使われる色が心と体を癒してくれるのです。色って不思議(´▽`)

(´▽`)ですよ。

その色をアウトプットすることが、何より大切と考えています。

子ども固有の成長のスピードがあります。

我が子の成長のスピードを保護者の皆さんが思い描くのは、ごく自然なことだと思います。しかし、子どもはそれぞれ固有のスピードを持っていきます。そのギャップが時として、子どもの大きなストレスになることもあります。

どもに言うのは、「すずいねえ」です。子どもがつくった作品に「上手にできたね」とは言うのはどうでしょう？ 上手の反対は下手です。それに対して「すずいねえ」には、反対語がありません。

そして、その作品に表れる子どもの気持ちを肯定的にとらえて、保護者の方に伝えるようにしていきます。例えば、そのときの子どもの気持ちと親子のコミュニケーションの有様です。次回は、このことについて少しお話をしてみよう

思います。

子どものアトリエ七星・アウトライン

クラス 月2回第1・3週クラスと第2・4週クラス
(※)は2歳児が対象

水曜日	金曜日	土曜日
10:00~70分(※)	10:00~70分(※)	10:00~90分
13:00~90分	14:30~70分(※)	13:00~90分
16:30~90分	16:30~90分	16:00~90分

月謝 土曜日・月2回/5000円、
水曜日もしくは金曜日・月2回/4500円
水曜日もしくは金曜日・月2回(※)/4000円

問い合わせ TEL 086-284-8402 岡山市橋津958-4